



## 大村市は市制78周年

長崎空港や高速道路を有し、県央都市として発展を続けている我が大村市。

昭和17年2月11日、大村町に萱瀬村、松原村、鈴田村、三浦村が合併し、市制を施行して78周年を迎えます。

当時55,900人であった人口も、現在は約96,900人と、飛躍的な伸びをみせています。

県立市立一体型図書館「ミライon」も開館し、令和4年度中には新幹線も開通する予定です。わたしたちの大村市の発展が楽しみです。

この、大村市の市制78周年を記念し、「市制施行78周年記念大村市表彰式」が開催されます。

日時：2月7日(金) 10:00～

場所：さくらホール

問合せ：秘書課 ☎53-4111(内線203)



### 大村市子ども美術展

大村市子ども美術展で入賞した、市内小・中学生の感性豊かな作品が展示されます。ぜひご鑑賞ください。  
展示期間：2月1日(土)～2月11日(火・祝)

9:00～20:00まで

場所：市コミセン大会議室(絵画)  
和室1(書)

問合せ：市コミセン(中央公民館)

☎54-3161



### 市内小中学校 郷土史クラブ成果発表会

市内小中学校の郷土史クラブが、1年間かけて調査研究した内容を発表します。ぜひご覧ください。

期日：2月8日(土)

会場：さくらホール



## 2月の歳時記



2月は如月(きさらぎ)と呼びます。

寒さのために更に着物を重ねて着るので「衣更着」という説があります

### 2月3日 節分(せつぶん)

本来、節分というのは季節の変わり目にあたる立春・立夏・立秋・立冬の前の日のことを指します。

旧暦では立春の頃が一年の始めとされ、最も重要視されていましたので、節分といえば、一般的に立春の前の日を示すようになりました。

立春を新年とすると、節分は大晦日にあたります。そのため、現在でも節分のことを「年越し」という地方もあります。

節分には、豆まきを行い邪気を祓い、良い年となるように祈ります。



### 2月4日 立春(りっしゅん)

2月4日頃(2020年は2月4日)。および雨水(うすい)までの期間。旧暦ではこの日が1年の始めとされていたため、決まり事や季節の節目はこの日が起点になっています。八十八夜、二百十日、二百二十日も立春から数えます。まだまだ寒いですが、暦の上では旧冬と新春の境い目にあたり、この日から春になります。梅の花が咲き始め、徐々に暖かくなり、春の始まりとなります。

### 2月9日 初午(はつうま)

初午とは、2月最初の午(うま)の日のことです。

この日には、古くから「稻荷詣で」をする風習があります。

これは、「初午詣で」ともいいます。各地の稻荷神社には、初午祭が行われるところも多くみられます。そして、お稻荷様に家内安全、商売繁盛、開運などをお願いします。



### 2月11日 建国記念の日(けんこくきねんのひ)

2月11日は「建国をしのび、国を愛する心を養う日」として、1966年に「建国記念の日」と定められました。

この日は、明治から第二次世界大戦終戦までは「紀元節」という祝日でした。それが、神武天皇が即位した日を日本の建国された日として祝うことは、戦後占領軍(GHQ)の意向で廃止されました。

名称に「の」を挿入した「建国記念の日」として“建国されたという事象そのものを記念する日”であるとも解釈できるようにすることで、1966年に国民の祝日に認められ、翌年から適用されました。



### 2月19日 雨水(うすい)

2月19日頃(2020年は2月19日)。および啓蟄(けいちつ)までの期間。立春から数えて15日目ごろ。空から降るものが雪から雨に変わり、氷が溶けて水になる、という意味。草木が芽生える頃で、昔から、農耕の準備を始める目安とされてきました。春一番が吹くのもこの頃です。

しかし、本格的な春の訪れにはまだ遠く、大雪が降ったりもします。三寒四温を繰り返しながら、春に向かっていきます。地方によっても違うようですが、この日に雛人形を飾ると良縁に恵まれるといわれています。

